

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和4年4月】

■調査概要（データ対象期間：令和4年4月1日～4月30日）

○調査期間：令和4年4月28日～令和4年5月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業18企業、卸売業11企業、小売業22企業

飲食業14企業、サービス業40企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計124企業>

○調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲8.3)よりマイナス幅が4.3ポイント縮小し、▲4.0となった。業種別では、卸売業はプラス幅が拡大した。小売業は0のまま横ばいであり、製造業0からマイナスになった。飲食業、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小した。

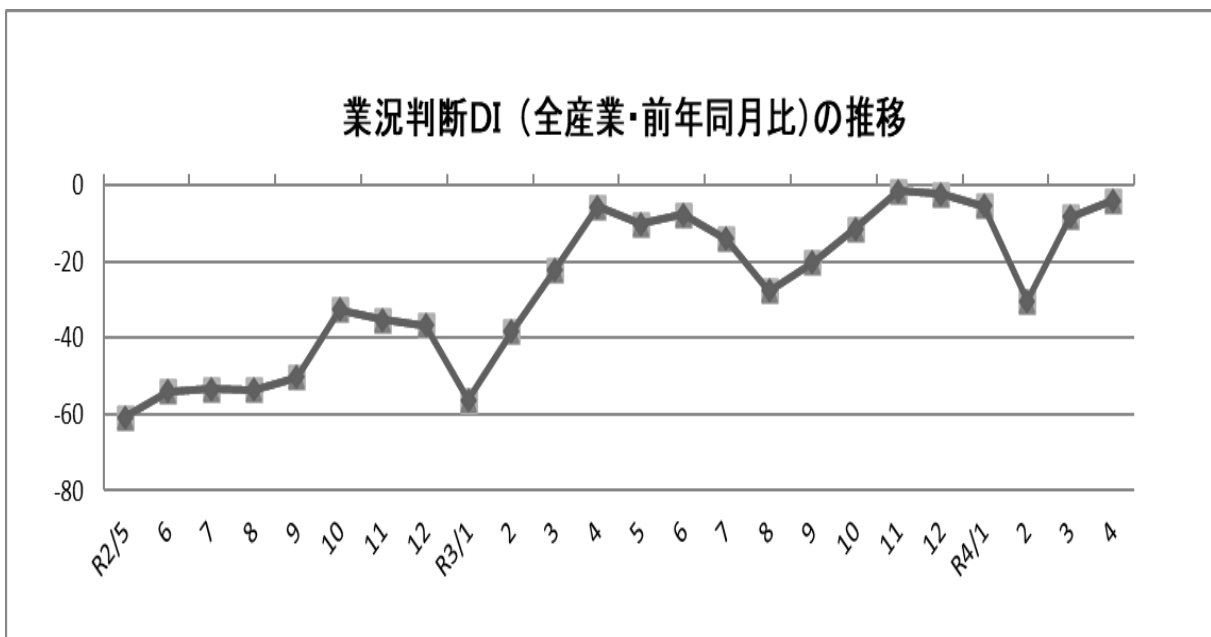
○全産業合計の水準DIは、前月(▲23.3)よりマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲17.8となった。業種別では、卸売業はプラス幅が拡大した。飲食業、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小し、小売業、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	21.8 (18.0)	52.4 (55.7)	25.8 (26.3)	▲ 4.0 (▲ 8.3) ↗	16.1 (15.8)	50.0 (45.1)	33.9 (39.1)	▲ 17.8 (▲ 23.3) ↗
建設業	5.3 (0.0)	78.9 (75.0)	15.8 (25.0)	▲ 10.5 (▲ 25.0) ↗	5.3 (0.0)	84.2 (80.0)	10.5 (20.0)	▲ 5.2 (▲ 20.0) ↗
製造業	11.1 (33.3)	50.0 (33.4)	38.9 (33.3)	▲ 27.8 (0.0) ↘	16.7 (33.3)	44.4 (27.8)	38.9 (38.9)	▲ 22.2 (▲ 5.6) ↘
卸売業	45.5 (38.5)	45.4 (38.4)	9.1 (23.1)	36.4 (15.4) ↗	45.5 (38.5)	36.3 (38.4)	18.2 (23.1)	27.3 (15.4) ↗
小売業	31.8 (29.2)	36.4 (41.6)	31.8 (29.2)	0.0 (0.0) →	22.7 (33.3)	40.9 (25.0)	36.4 (41.7)	▲ 13.7 (▲ 8.4) ↘
飲食業	28.6 (11.8)	35.7 (41.1)	35.7 (47.1)	▲ 7.1 (▲ 35.3) ↗	14.3 (0.0)	35.7 (35.3)	50.0 (64.7)	▲ 35.7 (▲ 64.7) ↗
サービス業	20.0 (9.8)	57.5 (75.6)	22.5 (14.6)	▲ 2.5 (▲ 4.8) ↗	10.0 (4.9)	50.0 (53.6)	40.0 (41.5)	▲ 30.0 (▲ 36.6) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



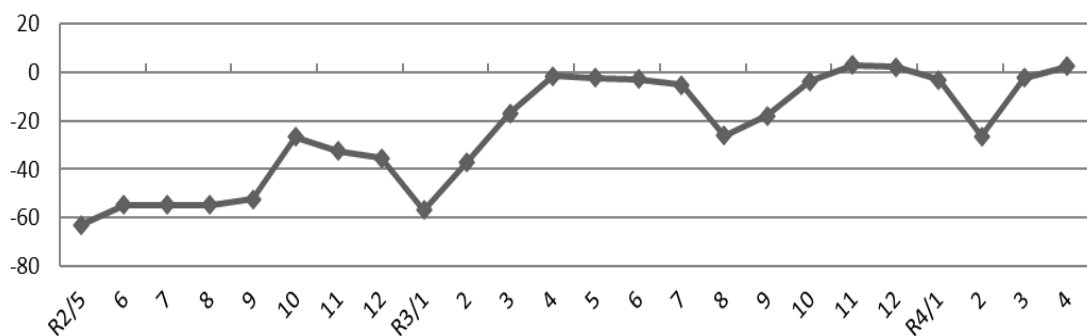
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲2.3）よりマイナス幅が4.7ポイント縮小して、2.4となった。業種別に見ると、卸売業、小売業はプラス幅が拡大し、サービス業はプラス幅が縮小した。製造業は0からマイナスになり、飲食業はマイナスから0になった。建設業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
全体	▲1.4	▲2.2	▲2.9	▲5.1	▲26.1	▲17.9	▲3.5	3.0	2.3	▲3.1	▲26.5	▲2.3	2.4
建設業	▲30.0	▲33.4	▲18.2	▲26.3	▲25.0	22.2	▲4.5	15.8	▲5.5	▲15.8	▲23.8	▲25.0	▲15.8
製造業	▲8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0	▲5.2	▲5.0	10.5	▲52.7	0.0	▲16.6
卸売業	33.4	10.0	7.7	▲10.0	▲25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5
小売業	3.6	▲8.3	▲16.7	▲13.6	▲48.2	▲45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲28.0	4.2	4.5
飲食業	▲18.7	▲31.3	▲10.0	▲25.0	▲82.4	▲61.1	▲17.6	5.3	16.6	▲50.0	▲80.0	▲35.3	0.0
サービス業	9.7	13.6	0.0	0.0	▲15.0	▲17.5	▲20.5	▲7.1	▲2.5	0.0	▲12.0	9.8	5.0

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



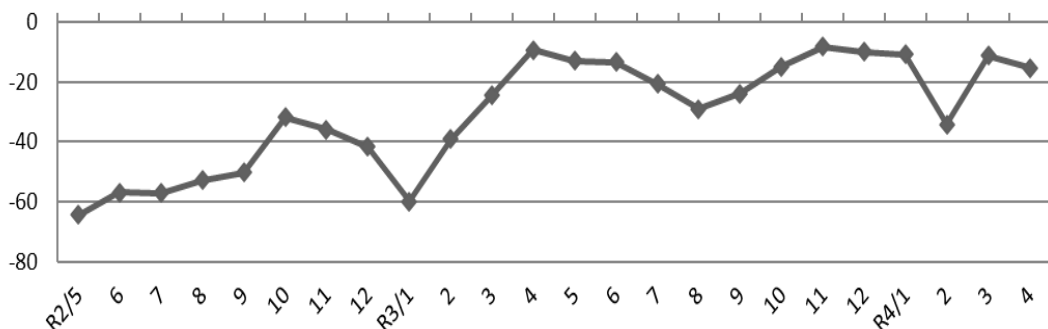
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲11.3）よりマイナス幅が4.1ポイント拡大して、▲15.4となった。業種別に見ると、小売業はプラスから0になった。サービス業はプラスからマイナスに転じ、卸売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業、製造業はマイナス幅が拡大した。

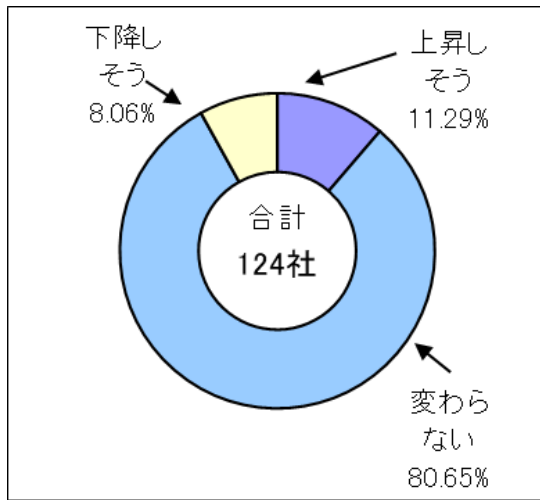
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
全体	▲9.3	▲13.0	▲13.5	▲20.8	▲29.0	▲23.9	▲15.0	▲8.3	▲10.0	▲10.8	▲34.1	▲11.3	▲15.4
建設業	▲40.0	▲33.3	▲18.2	▲36.8	▲30.0	5.6	▲22.7	▲5.2	▲27.8	▲21.0	▲23.8	▲30.0	▲31.6
製造業	▲17.4	4.2	▲5.0	5.0	4.5	▲4.5	▲20.0	▲15.7	▲35.0	▲10.6	▲57.9	▲11.1	▲44.5
卸売業	16.7	0.0	▲7.7	▲20.0	▲16.7	0.0	7.7	▲9.1	0.0	30.0	0.0	▲7.7	27.3
小売業	0.0	▲12.5	▲25.0	▲27.3	▲37.0	▲50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲16.0	4.1	0.0
飲食業	▲25.0	▲43.7	▲15.0	▲35.0	▲82.4	▲66.7	▲29.4	▲21.0	16.6	▲56.2	▲80.0	▲47.0	▲21.5
サービス業	2.4	▲4.5	▲9.5	▲15.9	▲22.5	▲20.0	▲20.4	▲7.1	▲10.0	▲4.7	▲31.0	2.4	▲12.5

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

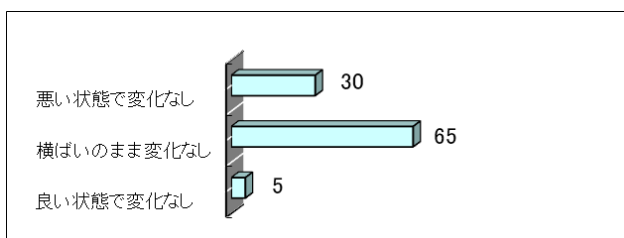


○令和4年5月～令和4年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.02ポイント上昇し11.29%、「下降しそう」が1.71ポイント下降し8.06%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲16.7)、卸売業(▲9.1)、小売業(4.6)、飲食業(7.2)、サービス業(15.0)であった。

➡「上昇しそう」では「今年度の公共工事が発注されるため」(建設業)「ゴールデンウィーク、クラフトフェアなど人の動きがありそうのため」「繁忙期になるため」(小売業)「先々の売上が好調なため」「旅行意欲に向上が見られるため」「新型コロナウイルス感染症に対する緊張感が解けてきていると感じるため」「おそらく修学旅行が実施されるため」「職業訓練受講者数が安定しないものの、目先増加に転じたため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「規制緩和の影響を受け人出が増えそうのため」といった声が多数寄せられた。

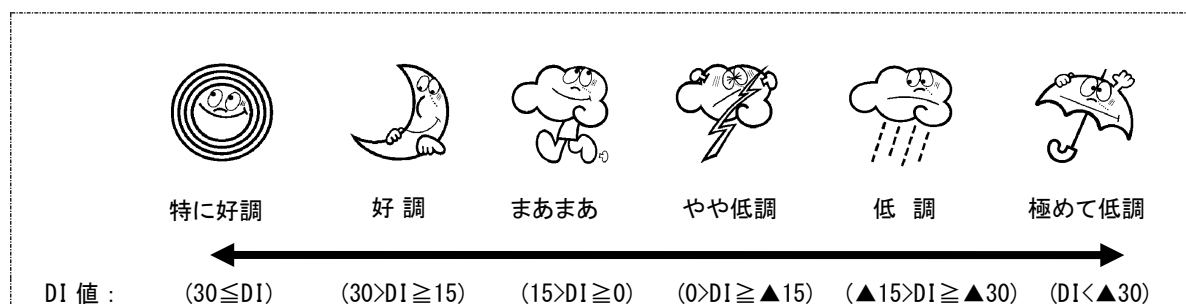
➡「変わらない」では「取引先との折り合いがうまくいかず諸費用での値上げ分を価格に転嫁できないため」(製造業)「際立った好材料が見当たらないため」「物資の値上がりりが心配なため」(小売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「4月は大型物件があったため」(建設業)「受注量が一時的に落ちているため」「例年の流れのため」(製造業)「現在行っているプロジェクトが完了するため」「新年度業務発注の見通しがたたないため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「新型コロナウイルス感染症の影響があるため」といった声が多数寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2	▲ 26.3	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8
受注量	▲ 45.0	▲ 28.5	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 5.3	▲ 38.9	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 21.0
受注単価	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 15.8	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 9.1	5.3	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0	10.5
営業利益	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6
見通し	▲ 5.0	14.2	4.5	0.0	5.0	11.1	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・市況については先月同様である。業界内の定期総会については、対面開催が多く書面決議はほとんどないが、懇親会開催は半数くらいの実施のようである。

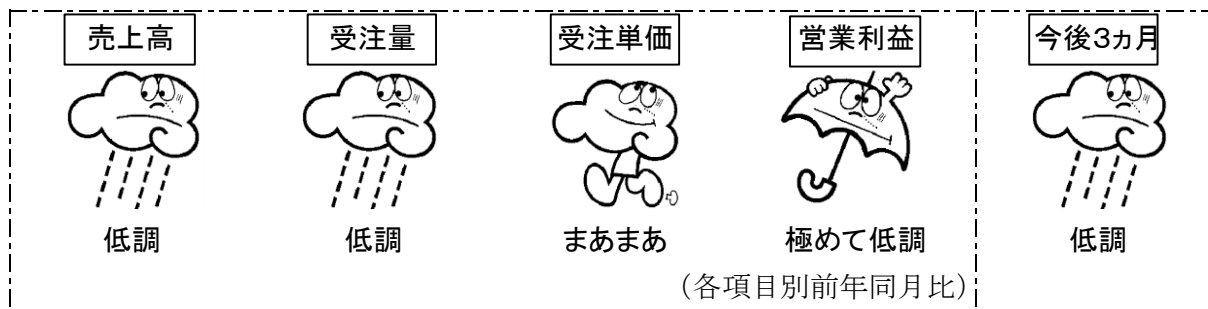
土木工事

- ・材料費の高騰が止まらない。上がる一方である。今後が全く見えない。

電気工事

- ・燃料、材料の値上げによるダメージが深刻である。
- ・銅単価が異常な高値でメーカーが出荷制限をしており、材料手配が困難な状況が続いているため、不安である。
- ・物流の停滞があり、現場の対処に支障が出ている。この状況がいつまで続くか心配である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6
受注量	▲ 8.7	8.3	25.0	25.0	9.1	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 10.0	5.2	▲ 47.4	5.5	▲ 22.2
受注単価	0.0	0.0	5.0	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	5.0	5.3	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5	11.1
営業利益	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0	5.0	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5
見通し	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2	▲ 16.7

<経営者の目・見方・e t c>

精密機器組立

・中国のロックダウンの影響で部品の入荷に悪影響があった。製造のコストも上昇しつつあり先行きが不安である。

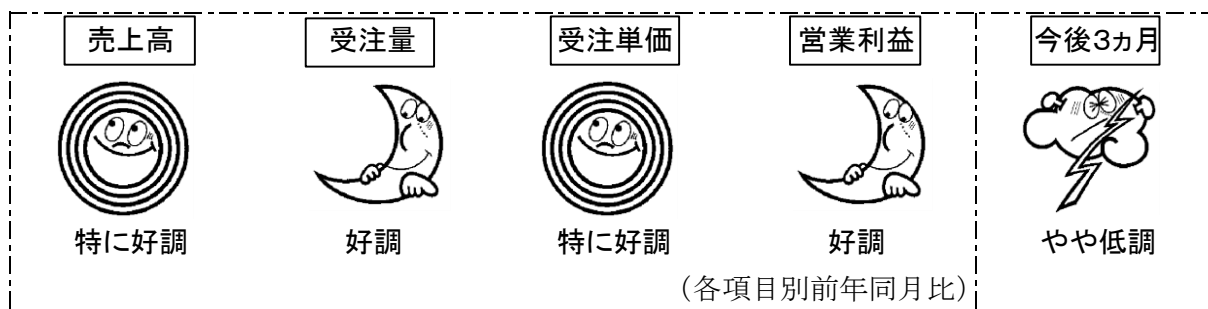
金属塗装

・燃料価格及び原材料価格が上昇し、売値に反映できていない状態が継続していることと、上海の都市封鎖等中国の新型コロナウイルス感染対策の影響で自動車業界は部品が入らず困っている。当社への受注も減少している。

印刷

・学校の先生方の外部環境に対する著しい理解の欠如に困惑する。現在、印刷用紙は軒並み10%、製版材料にいたっては15~20%の値上げの通知が届いているにも関わらず、学校印刷物への業者からの値上げ交渉に対して、配慮を示さず業者切り替えを検討する公立学校が見られる状況である。今までも用紙の値上げ、消費税増税分にすら理解を示してもらえなかったが、今回の値上げもこのようなことを続けていて、それを校長会や教育委員会で地域経済配慮としてすら検討していない。

3. 卸売業








【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	33.4	10.0	7.7	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5
販売客数	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 16.6	▲ 25.0	7.7	9.1	▲ 16.7	10.0	▲ 10.0	7.7	18.2
販売客単価	8.4	30.0	15.4	10.0	▲ 8.3	0.0	23.1	36.4	8.3	40.0	20.0	30.8	36.4
営業利益	16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3
見通し	▲ 16.7	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 16.7	16.7	7.7	▲ 9.1	▲ 25.0	0.0	10.0	0.0	▲ 9.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 青果
 - ・野菜、果実共に単価高で推移している。4月になり長野県産野菜の出荷が始まった。合併から1ヶ月経ち、落ち着くにはもう少し時間が掛かりそうである。
- 業務用食品
 - ・食品全般に原料、運賃、資材の値上げにより食品の値上げラッシュで、お客様へ価格転嫁は価格競争になりがちで利益の確保が課題である。
- 土産品
 - ・ゴールデンウィーク前と春山のオープンも重なり発注量も増え、昨年比では倍以上の売上となった。しかし、海外からの輸入製品の支払いがUSDドルであるため、急激な円安による利益低下は不安材料である。
 - ・取扱商品がモノ不足のため納期が延びている。対応のための調整時間が増大している。
- 機械工具
 - ・各メーカーが大幅値上げを打ち出し、更なる値上がりムードが漂う中、流通は値上交渉の段階となっている。一時期より品薄感はなくなったが状況ではあるが、自動車の生産状況下では不透明感が残る。建築関係では、契約時の価格の何処に転嫁できるかが鍵となる。
- 金属製品
 - ・今後、上海のロックダウンの影響で商品の入荷が不安定になりそうである。価格改定は続き、再値上げの話が来ている。
- 自転車

4. 小売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	3.6	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 13.6	▲ 48.2	▲ 45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5
販売客数	▲ 10.8	▲ 4.1	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 44.5	▲ 50.0	8.3	13.1	0.0	▲ 4.4	▲ 32.0	▲ 4.2	4.6
販売客単価	▲ 10.7	▲ 8.4	▲ 29.2	▲ 13.7	▲ 29.6	▲ 20.9	4.2	▲ 13.1	27.3	0.0	4.0	16.7	0.0
営業利益	0.0	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 37.0	▲ 50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0
見通し	▲ 14.3	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 13.7	▲ 14.8	0.0	12.5	▲ 8.7	▲ 27.3	4.3	▲ 12.0	0.0	4.6

<経営者の目・見方・e t c>

燃料	・ロシア、ウクライナ問題が悩みの種である。
印章	・桜の開花とともに人通りが増えるかと思っていたが、開花期間が短く、期待ほどにはならなかった。月末からの大型連休は、県内外から観光に来た方々の動きがかなり戻ってきたように思う。
印章・刃物研ぎ	・連休に期待したい。
ガラスサッシ	・市内の中堅の建材店が倒産した。我々のような零細企業に影響を及ぼすであろうことを危惧している。
化粧品	・色々な物の高騰の影響が出ている。特に食料品の値上げにより、一般の品の購入に影響が出てくる。
洋菓子店	・昨年までの巣ごもり需要は落ち着いてきた印象である。外出が増えてくるとテイクアウト需要は少なくなる。製菓業は輸入原料が多いこともあり、円安状態だとますます材料が高騰する。商品や会社としての付加価値の意味を考えていかないとこれから大変になると予想する。
和菓子	・週末は人出も多く売上も良かった。
生鮮食品	・去年は緊急事態宣言となったが、今年は人出もあり、10日位早く桜も満開となり、売上も良かった。

5. 飲食業

売上高  まあまあ	受注量  まあまあ	受注単価  やや低調	営業利益  低調	今後3ヵ月  まあまあ
--	--	---	--	--

(各項目別前年同月比)






【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0
販売客数	▲ 18.7	▲ 37.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 23.5	10.5	16.6	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3	7.2
販売客単価	▲ 37.5	▲ 56.2	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 52.9	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 10.5	5.5	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3	▲ 7.2
営業利益	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5
見通し	▲ 6.3	0.0	5.0	▲ 15.0	▲ 29.4	0.0	5.9	▲ 5.2	▲ 33.3	▲ 43.8	13.3	11.8	7.2

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|--|
| 料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・桜の花は咲き少しずつ人流は回復しているが来客は少ない。皆新型コロナウイルス感染症の影響を受け疲弊している。 |
| 郷土料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・年度の代わる4月ならではの人の動きがあるが、歓迎会や各団体の総会役員会などの宴会はない。土日の他県からの来店は増えた。月末、ゴールデンウィークに期待する。 |
| 創作料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・松本市の新型コロナウイルス感染者数がなかなか下がってこず、また地域内での感染者発生により、来客は1件のみで相変わらずの状態である。併せて、サラダ油や玉葱等物価の上がり方が尋常ではなく、山菜の天ぷら提供も悩むところまで来ている。5月の連休に期待を寄せていたが、予約は2件に留まっている。連休明けの感染者の増加に不安を抱いている。 |
| そば | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収まる気配がない中、ウクライナ情勢の影響で食材等の値上がり、電気、ガス、ガソリンの価格高騰、円安など、この先日本は厳しさを増すばかりと懸念する。 |
| 寿司 | <ul style="list-style-type: none"> ・今月に組合の役員会があったが、まだ景気が悪く見通しが立たない状況である。 ・間違いなく景気は上向きになってきたと思う。新型コロナウイルス感染症への恐怖心が薄れてきたのか、人の流れが回復してきた様に思う。経済面では非常に有り難いが、やはり新型コロナウイルス感染症には警戒しなければならない。 |
| 食堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月は年度始まりだからか会食の予約は増えたが、夜の予約は少なかった。中頃になると松本市の陽性者数が増加してきたからか、客足が落ちてきた。5月のゴールデンウィークに期待したい。 ・松本市内で新型コロナウイルス感染者が依然多い状態が続いているためか、平日の客足は鈍いが土日は賑やかになってきた。 |
| ラーメン | <ul style="list-style-type: none"> ・円安が続くと仕入高が高くなり大変になる。 |

6. サービス業

売上高  まあまあ	受注量  やや低調	受注単価  まあまあ	営業利益  やや低調	今後3ヵ月  好調
--	--	---	--	--

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月
売上高	9.7	13.6	0.0	0.0	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0
販売客数	9.8	2.3	0.0	▲ 6.8	▲ 22.5	▲ 17.5	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 10.0	4.7	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 2.5
販売客単価	7.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 10.0	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 12.5	▲ 2.3	▲ 14.3	0.0	0.0
営業利益	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5	▲ 15.9	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5
見通し	▲ 17.1	▲ 2.3	14.2	▲ 18.2	▲ 7.5	10.0	▲ 13.7	▲ 7.2	▲ 17.5	▲ 20.9	2.3	2.5	15.0

<経営者の目・見方・etc>

旅館

- ・昨年よりは10%程伸びたが、まだまだコロナ禍以前と比べれば30%少ない。物価が高騰しているのに予約済みの客単価には反映出来ない。
- ・長野県の新型コロナウイルス感染者数が多かったせいか、キャンセルもあり伸び悩んでいる。

温泉旅館

- ・今のところ集客は悪くない。しかし全体的な物価高騰が厳しい。特にガスや石油関係の価格上昇が著しい。このままいくと、なんでも値上げで販売価格に転嫁していくほかなく、客足が遠のいていく可能性がある。悪循環なインフレにならないか心配である。
- ・まだまだ光は見えていない。新型コロナウイルス感染症対策は万全を期している。一日も早い光を。

観光旅館

- ・今年こそ通常に近い上高地開山祭ができると思っていたが、大雨による道路の法面崩壊により通行止めとなり、中止となってしまった。しかし、早く復旧して29日からは営業することができた。今年は新緑が早く進んでおり、連休に期待したい。

宿泊

- ・雨天による土砂崩落で出鼻をくじかれたが、迅速に対応してくれて助かった。今後消費者の旅行意欲がさらに向上していくことに期待しつつ新型コロナウイルス感染症対策も引き続き気を引きしめていきたい。

ホテル

- ・信州割スペシャルの条件等の拡大があった。御開帳が始まり良い影響を期待する。

ホームクリーニング・リネンサプライ業

- ・withコロナを実感している。

写真

- ・昨年に比べて微妙に落ち込んできている。新型コロナウイルス感染症の陽性者数も多少減ってきている感じはあるが、ゴールデンウィーク明けはまた増えるであろう。人数の状態により人の動きも変わり、先は不透明な状態である。

自動車整備・板金塗装

- ・新型コロナウイルス感染症が落ち着くと思っていたが、なかなか収束しそうもなく心配である。新学期が始まって、新卒者も落ち着き、車販売も多くなっているが、半導体不足などの影響でなかなか入荷されない。戦争も拍車をかけているようで先行き不安である。

機械設計	<ul style="list-style-type: none"> • まだまだ購入部品の納期が掛かっている。いつ入荷できるか分からない部品もある。今年もこの状態が続くであろう。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客の原材料等の高騰による販売戦略の見直しにより、IT投資も抑制の方向に向かっている。新規開発よりも、既存の運用方式の効率化や必要な既存業務の維持に特化する提案が必要と感じる。
システムサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 物価上昇、円安による原価高騰と中国国内の新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響で景気の不安定化が懸念される。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> • 中旬には上高地公園線道路の冬期通行止めが解除となって観光シーズンに入ったので、観光客の増えることを期待したい。オート燃料価格が3月、4月と2ヶ月続いて大幅な値上がりとなった。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> • 狂犬病の集合予防注射が各地で始まった。万が一狂犬病が発生した場合、流行は70%以上のワクチン接種で抑えることができるのはエビデンスがある。4月5月6月が法定の接種時期となるため、集合会場か動物病院で済ませてほしい。経営は良好である。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> • 人は動き始めたように感じるが、売上にはつながっていない。